



郡中学校通信 No18

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R 3. 9. 7 発行 文責 校長 松崎大樹

厳しいコロナ禍の中ではありますが、
「第75回体育大会」に向けてチーム郡が動き始めました！
しかしながら、「第2学年修学旅行」は延期を決断いたしました。

保護者の皆様へ

県内や大村市内においても感染力が強いデルタ株への置き換わりが進む中、現在も新型コロナウイルス感染者の広がりが衰えを見せません。そのような中、本校の「第75回体育大会」の開催に向けて協議を重ねた結果、①万全なコロナ感染防止対策の実施、②保護者の入場制限及び来賓の方々の参観中止、③プログラムや内容の削減による午前中のみの開催等の具体的な施策をしっかりと講じる中で、生徒達の学びと表現の場である「第75回体育大会」の開催を決定させていただきました。そして、その中で体育大会に向けた生徒達の活動も動き始めました。状況の変化によっては、厳しい判断を下さなければいけない時もあるかと思いますが、現時点では、9月19日(日)の体育大会の開催を切に願っているところです。保護者の皆様におかれましても、ご家庭での感染防止に努めていただく中で、生徒達の活動を温かく見守っていただければ幸いです。

しかしながら、今月の9月28日～30日に予定されていた第2学年の修学旅行については、同意書提出の中で、修学旅行参加を辞退された生徒・保護者の苦渋の判断を学校として重く受けとめるとともに、国・県・市教育委員会からの通知、あるいは、市内他中学校の動向、家族や近親者の感染等による欠席報告が増えつつある現状等を踏まえ、熟慮に熟慮を重ねた結果、吉岐での活動を断念し、修学旅行の開催時期を令和4年2月15日～17日に延期することを決断いたしました。改めて、保護者の皆様にご報告させていただくとともに、今の現状を鑑み、この対応につきましてご理解・ご了承のほどよろしくお願いいたします。

このように厳しいコロナ禍の状況が続いていますが、生徒、先生方と知恵を出し合い、協力しながら、これからも本校の教育活動をしっかりと展開できるよう努めてまいります。

また、それを成し遂げるためにも学校と保護者や地域の皆様との固い連携・協力体制が大切だと考えます。引き続き、本校教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。 校長より



「本気」で動くから、見えぬものが見えてくる。
「本気」で動くから、大切なことがわかってくる。
そして、「本気」で動くから、
「本物の感動」が創れるのです！
いよいよ体育大会に向けて始動の時！
チーム郡の「絆」をしっかりと見せつけて下さい！

第75回体育大会スローガン 「**全力疾創**」

チーム郡 思いを力に! | 9月第2週の言葉!

コロナ禍の中、運動場に全学年で整列し集合したのは、今年度始めてまだ2回しかありません。そんな中、3年松岡体育委員長の力強い挨拶で全体練習がスタートしました。

体育大会への取組の中で…「おかげさま」と「お互いさま」の心を大切に!



「おかげさま」とは、自分を支えてくれているすべてのものへの感謝を表す言葉です。
また、私たちが「お互いさま」という言葉を使う時、そこには「自分も皆さんのお世話になっけていますから」「自分も誰かしらに迷惑をかけることはありますから」といった謙虚な気持ちが必要だと思っています。
どのような気持ちで人と接し、どのような心で人や社会とつながっていくのか。そうした一人一人の考え方や行動が、人間関係を良くも悪くもしていくのです。
これは学校行事等において、クラスや学年の集団で新たな感動や伝統を創り出す時も全く同じだと考えます。
周囲への感謝を忘れない謙虚な心の持ち主のもとは、いさかいは起こらず、温かく親しみやすい空気が醸し出されることだと思います。そして、そんな良好な人間関係が築かれた時、自分にとっても、周りの仲間にとっても思い出深い、記憶に残る体育大会が創れるのだと思います。

「おかげさま」「お互いさま」の思いを忘れず、「本気」で体育大会に取り組む。その中で、チーム郡の「絆」をしっかりと見せつけてください！生徒のみなさんの頑張りをお願いいたします。

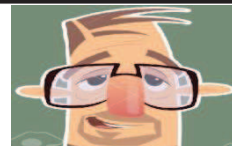


コロナ禍の中、人として大切なものを見失わないように日々過ごしていきましょう…



始業式の校長講話や郡中学校通信NO17の中で私が触れた「新型コロナウイルス感染者等への誹謗中傷」に警鐘を鳴らす話に対して、副校長の六山和弘先生からも郡中の生徒達にもしっかり指導していただきたいと道徳教材が本校の先生方へ紹介されました。

人として大切なものをしっかりと考えさせてくれる素敵な読み物資料でしたので、生徒・保護者の皆様にも紹介させていただきます。ご一読ください。



六山和弘副校長

約束のミサンガ

僕とジュンは昔から大の仲良しだ。僕たちの腕にはミサンガがある。僕とジュンは同じサッカークラブに所属していた。「和也、六年生になったら一緒に全国大会に出場しような!」「ジュン、約束だぞ!絶対に全国大会に出場するんだ!」と二人で約束をして一緒に練習を頑張っていた。ミサンガには、そんな二人の約束が込められている。

ある日の夜、テレビを見ていると、「本日、〇〇病院で十六名のコロナ患者が確認されました。」というニュースが流れた。

〇〇病院は、ジュンの両親が働いている所だ。お母さんが、「あら、ジュン君のご両親の所ね。大丈夫かしら?」と話しかけてきた。「ジュンは、大丈夫だよ……。きっと……。」僕は答えた。

次の日、学校に行くと、教室で何人かが集まっていた。「ジュン君のお母さんが働いている病院でクラスターが発生したらしいよ。」「症状がなくても感染していることもあるらしいから、もしかしたら……。」ジュンが感染しているのでは、という噂はまたたくまに広がっていった。

その日の放課後、「今日、公園でサッカーの練習をしようよ!」ジュンが僕を誘いに来た。「うん。いいよ。」僕がそう答えようとした時だった。周りの友達が、僕をじっと見ていた。僕は、「ごめん。今日は用事があるんだ……。」そう言って、何も言わずにその場を立ち去ってしまった。

その日から、僕はジュンを避けるようになった。サッカーの練習でも、いつもジュンと一緒にシュート練習をしていたが、他の友達とするようになった。二人でつけていたミサンガも友達からどんな風に見られるのか気になり、外してしまった。

「あれ?ミサンガどうしたの?」とジュンから聞かれた時も、「あっ、ミ、ミサンガね……。切れちゃったんだ……。」と嘘をついてしまった。

そんな関係が二週間ほどたったある日、先生から「ジュン君は、お家の人の仕事の都合で転校することになりました。」というお話があった。ジュンは、何も言わず転校してしまった。

数日後、家に帰り着くと、お母さんから「大好きなジュン君から手紙が来てるわよ。よかったわね。」と手紙を渡された。僕は下を向きながら受け取った。僕は静かに封筒が破れないように丁寧に開き、手紙を取り出した。

和也へ

両親が〇〇市の病院で働くことが決まり、転校することになりました。急に引っ越すことになり、話もできずにごめんね。一緒に全国大会に出場するという約束を守れなくてとても悔しいです。でも、別のチームになっても僕はこの約束を守るよ。お互いに今のチームで全国大会に出場することをめざしてがんばりましょう!!

P.S. 和也のミサンガを新しく作りました。二人の約束に向かってがんばろうね。 ジュンより



手紙の中には、一本のミサンガが入っていた。僕は、部屋にある肩を組む二人の写真をじっと見つめていた。

【速報】長崎県学力検査結果・全国学力学習状況調査結果について

長崎県学力調査（正答率）				全国学力・学習状況調査【生徒質問紙】から 3年生対象				
	2年国語	2年数学	3年英語	質問内容	回答項目	全国	長崎県	郡中
長崎県	61.60%	49.20%	56.60%	家で計画を立てて勉強をしていますか	良くしている	19.40%	17.20%	9.80%
大村市	60.70%	47.20%	54.30%		時々している	44.10%	46.70%	50.20%
郡中	59.00%	41.30%	56.50%		あまりしていない	27.10%	28.00%	31.20%
					全くしていない	9.40%	8.10%	8.80%
全国学力・学習状況調査（正答率）				学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強しますか	4時間以上	10.20%	5.20%	2.80%
	3年国語	3年数学	3時間以上4時間より少ない		16.60%	13.60%	5.60%	
全国	64.60%	57.20%	2時間以上3時間より少ない		26.70%	29.30%	21.90%	
長崎県	63.00%	56.00%	1時間以上2時間より少ない		24.10%	29.40%	34.40%	
郡中	60.00%	52.00%	1時間より少ない		15.00%	16.70%	28.40%	
			全くしない		7.40%	5.70%	7.00%	



○長崎県学力調査では、2年国語、2年数学において県、大村市の平均正答率よりポイントが低い結果となっています。3年英語においては、大村市の平均正答率を上回り、県の平均正答率と同程度となっています。また、全国学力・学習状況調査では、3年国語・3年数学において全国、県の平均正答率よりポイントが低い結果となりました。課題としては、国語科では長文の読み取り、記述問題に課題が見られ、数学科では数学的な見方・考え方（関数等）、記述問題に課題が見られました。また英語科では、書くことにおける外国語の表現能力に課題が見られました。

○【生徒質問紙】からは全国、長崎県と比較しても家庭学習の時間が少ないことが顕著に現れています。

○郡中としては、今回の2つの学力調査結果をより詳しく分析し、日々の授業改善に努めてまいります。併せて、学校・家庭が協力して日々の学びの大切さを生徒達に伝えていくことが大切だと考えます。今回の調査を受けた2年生、3年生には詳細な結果用紙を配付しています。ご家庭でもご一読していただく中で、温かいアドバイスをお願いします。